

単元名

わたしの はなを そだてよう

教科書 上巻 p.20 ～33 単元の配当時間 11時間／活動時期 5 ～ 9 月

単元の目標

植物を継続的に育てる活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長のようすに関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にすることができるようにする。

小単元の目標と評価例

※ここに示した例は、啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

小単元名と小単元の目標	評価規準（おおむね満足できる）		十分満足できると見取る児童の具体例	努力を要する児童への支援
どんな はなを そだてたいかな？（1時間） これまでの経験や友達の話をもとに、楽しく植物を育てるようすを思い描きながら、自分が育てたい植物を選んだり、決めたりすることができるようにする。	思	楽しく植物を育てるようすを思い描きながら、自分が育てたい植物を選んだり、決めたりしている。	これまでの経験や友達の話から、まだ育てたことのない花や、種の形状から興味をもった花など、自分なりの根拠をもって育てる花を選んでいる。	●友達と相談したり、幼稚園や保育所、こども園などでの体験を想起させたり、教師が「いっしょに育てよう」と誘ったりしながら花を決め、意欲がもてるようにする。
たねを まこう（1時間） 自分が育てる植物が元気に育つように願いながら、種をまくことができるようにする。	態	自分が育てる植物について、発芽や成長を楽しみにしながら、種まきをしようとしている。	丁寧に種をまくとともに、早く芽が出て花を咲かせてほしいという思いを手紙やプレートにして鉢に添えたり、種に語りかけたりしようとしている。	●「いつ芽が出そうかな？」「何色の花が咲くか楽しみだね」と子どもに投げかけながら教師といっしょに種まきをして、栽培への意欲が高まるようにする。
せわを しょう（2時間） 自分が育てている植物に関心をもち、植物の変化や成長に応じて世話のしかたを工夫したり、観察したりすることができるようにする。	知	育てている植物の成長するようすや変化に気付いている。	葉の茂るようすから間引きの必要性に気付いたり、伸びてきた蔓のために支柱を立てる必要性に気付いたりするなど、成長に合った世話のしかたがあることに気付いている。	●友達の世話のしかたと自分の世話のしかたとを比べたり、成長に伴う変化について話をしたりしながら、教師が記録カードにかき添えたりする。
	思	植物の変化や成長のようすを意識しながら、世話のしかたを考えたり、観察したりしている。	天候によって水やりの量やタイミングを工夫したり、植物の変化や成長に合わせて伸びてきた蔓のために支柱を立てたりするなど、世話のしかたを試行錯誤するとともに、世話をしながら気付いたことを記録カードにかいたり、報告したりしている。	●友達の世話のしかたと自分の世話のしかたとを比べたり、これまでにかいた記録カードや撮影した写真と今の植物のようすを比べたりして、どんな世話が必要かを考えられるようにする。
	態	自分が育てている植物が、元気に大きく成長してほしいという思いや願いをもって、継続的に世話をしようとしている。	毎日、苗に話しかけながら水やりをしたり、葉の色の変化や害虫にも注意を払ったりしながら世話を続けようとしている。	●できた世話や頑張ったことを称賛し、栽培活動への意欲を高めたり、「アサガオが、毎朝〇〇さんが登校してくるのを待っているよ」などの声かけをし、水やりのきっかけをつくったりする。

単元の評価規準

- 知識・技能
植物を継続的に育てる活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。
- 思考・判断・表現
植物を継続的に育てる活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長のようすに関心をもって働きかけている。
- 主体的に学習に取り組む態度
植物を継続的に育てる活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

小単元名と小単元の目標	評価規準（おおむね満足できる）		十分満足できると見取る児童の具体例	努力を要する児童への支援
わたしの はなが さいたよ（2時間） 自分が育てている植物を観察し、成長に伴う変化に気づき、気付いたことを表現したり成長のしかたについて考えたりすることができるようにする。	知	育てている植物の葉や花、育ち方の特徴に気付いている。	アサガオの花は、朝開いて昼にはしぼんでしまうことや、同じ花は次の日には咲かないことなど、時間を追って観察しなければわからないことにも気付いている。	●これまでの記録カードや撮影した写真と植物のようすを比べ、どこが変わったのかをとらえられるようにする。 ●葉、蔓、花など観察の視点を示して、その特徴や変化に目を向けて見るができるように促す。
	思	育てている植物の変化や成長のようすを調べたり、変化のようすを想像したりしながら、関わっている。	葉を触るとざらざらしていることと葉に細かい毛が生えていることを関係づけて考えたり、花の咲く順番を観察から考えたりして、気付いたことを進んで伝えたり、絵や文章で表現したりしている。	●これまでの記録カードや撮影した写真と比べ、その特徴や変化に目を向けて見るができるように促す。
	態	自分が育てている植物について変化や成長のようすに関心を持ち、じっくり観察しようとしている。	毎日、アサガオに話しかけたり、天候によって水やりを加減したりし、育てている植物の変化のようすに関心を持ちながら世話を続けている。	●できた世話や頑張ったことを称賛し、栽培活動への意欲を高める。 ●友達や教師といっしょに観察し、気付いたことを共有し、関心を高めるようにする。
たねを とろう（2時間） 種のできるようすに関心をもって観察や種とりをして、熟している種と熟していない種の特徴を確かめたり、集めた種とまいたときの種を比べたりしながら、植物にも生命があることに気付くことができるようにする。	知	実の中にある種の形や大きさがまいた種と似ていることに気づき、植物にも生命があることに気付いている。	実の中にある種がまいた種と同じであることがわかるとともに、ほかの植物も同じかどうか確かめたり、こぼれ種から芽が出ているのを見付けたりして、生命のつながりに気付いている。	●とれた種と保管しておいた種を比べ、まいた種と同じ種ができていることをとらえられるようにする。
	思	熟している種と熟していない種を比べたり、特徴を確かめたりしながら、種とりをしている。	緑色の実と茶色の実の中身を比べて種のでき方を考えたり、花から実ができるまでの流れを見付けたりして、気付いたことを進んで伝えたり、絵や文章で表現したりしている。	●緑色の実と茶色の実の中身を比べ、どちらに種ができているかとらえられるようにする。 ●蔓を上から下へたどりながら、花からどのように実へ変化するのかをとらえられるようにする。
	態	種のできるようすに関心を持ち、たくさんとりたいという思いをもって継続的に種とりをしようとしている。	天候や植物のようすに合わせて水やりを加減したり、種がとれたときには生命のつながりを実感したりしながら、世話を続けようとしている。	●できた世話や頑張ったことを称賛し、栽培活動への意欲を高める。 ●友達や教師といっしょに世話をし、気付いたことを共有し、関心を高めるようにする。

小単元名と小単元の目標	評価規準（おおむね満足できる）		十分満足できると見取る児童の具体例	努力を要する児童への支援
みつけた ことを つたえよう（3時間） これまでの栽培活動を振り返り、作品に表したり、友達と交流したりすることを通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くことができるようにする。	知	植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物にも自分と同じように生命があることがわかるとともに、生命を大切にしながら適切に世話ができるようになった自分の成長に気付いている。	●これまでの記録カードや撮影した写真を見たり、友達に頑張っていたことを伝えてもらったりして、できるようになったことや頑張ったことに気付けるようにする。
	思	育ててきた植物と自分との関わりを振り返り、感じたことや考えたこと、わかったことなどを自分なりの方法で表現している。	植物を大切に育ててきた自分や活動を振り返り、そのことがわかるように整理した記録カードの表紙を工夫したり、考えたことやわかったことをクイズやポスターなどに工夫したりして、楽しみながら伝え合っている。	●これまでの記録カードや撮影した写真などで栽培活動を振り返り、わかったことや考えたことなどを自分ができる方法で表現してよいことを伝える。
	態	植物と自分との関わりを進んで友達や教師、家の人などに伝えようとしている。	自分が大切に育ててきた植物の特徴や頑張った自分について友達や教師、家の人に伝えるとともに、次の栽培活動への意欲をもっている。	●友達や家の人に頑張っていたことを伝えてもらい、自信につなげ、次の栽培活動への意欲を高めるようにする。